平成24年度地域イノベーション戦略支援プログラム採択地域の取組

国際競争力強化地域

北大リサーチ&ビジネスパーク

世界をリードする「健康科学・医療融合拠点」の形成

"技術シーズの開発から事業化まで一貫した産学官の研究開発支援基盤"の構築を進める北大リサーチ&ビジネスパークを核に、「食」の機能性分析・評価拠点の機能強化、食素材の高付加価値化をはじめとした「食」・「健康」・「医療」領域の融合・発展的な研究を推進するとともに、「食」のスペシャリストの育成、知のネットワーク構築、研究設備の共用化など、『ヘルス・イノベーション』の展開に向けた高度・先進的な取組を展開する。

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

「先端光・電子技術」と「ものづくり基盤技術」の融合によるライフフォトニクスイノベーション

浜松・東三河地域が保有する革新的気質、事業化への経験と実績、イノベーションの源泉である基盤技術と研究成果を発展させ、新産業の創出を進めるとともに、産・学・官・金が横の関係で結び付く水平連携型（ネットワーク型）の産業構造を構築する。最先端の光・電子技術を基盤として、より良いQOL(Quality of Life)を志向する安全・安心・快適で成長可能な社会を実現するための「ライフフォトニクスイノベーション」を持続的に展開する。

関西ライフイノベーション戦略推進地域

関西ライフイノベーション戦略プロジェクト

重点領域（がん・難病治療薬、ワクチン、医療機器、医療技術、健康科学、先制医療、再生医療）での優れた研究シーズを生み出す研究者の集積を進めるとともに、知のネットワークを拡充して、若手の有望研究シーズの発掘機能も高めつつ、産業への「つなぎ」を促進する。このため、産業及び医療の視点から様々な支援を行うと同時に、人材育成機能を強化し、高度研究設備や開放型設備・機器の活用を促進して、研究成果実用化の総合的能力を高める。

ひょうご環境・エネルギーイノベーション・クラスター戦略推進地域

革新的膜工学を核とした水ビジネスにおけるグリーンイノベーションの創出

今世紀は"水"の世紀と言われ水需要の爆発的拡大が予想される。そのため我が国が得意とする分離膜水処理システムへの期待は極めて大きい。本テーマでは、我が国唯一の膜研究拠点である神戸大学・先端膜工学センターを核として、同大学や兵庫県立大学に国内外の研究者を集積し、兵庫県に集まる大型放射光施設SPring-8やスーパーコンピュータ等の世界オンリーワンの科学インフラを活用する革新的分離膜の開発と産業化を推進するグリーンイノベーション拠点を形成する。

福岡次世代社会システム創出推進拠点

社会ニーズ主導型開発推進による地域新成長産業の発展促進

高度情報社会、低炭素社会、健康・長寿社会等の世界が直面している課題に対応し、イノベーションを連続的に創出するために、課題解決を目的とした次世代社会システムの開発を実施する。具体的には、①「社会主導型研究開発モデル」の確立と開発成果の国際標準化の推進、②アジアをリードする世界トップクラスのイノベーション拠点の形成、③省エネルギー社会等の実現に必要な「半導体を応用した社会システム創出技術」の開発に向けた研究者集積、人材育成、知のネットワーク構築等の実施に取り組む。

研究機能・産業集積高度化地域

秋田元気創造イノベーション推進地域

森林バイオマスの循環型利活用の実践と森林管理の最適化

本テーマの根幹をなすタンデムリングミル型微粉砕機による木材微粉砕技術を実用化するために研究者を招聘し、特徴ある粉砕品の新規需要を開拓すると共に、地域木質資源の循環型利活用を促進するため、木材の効率的な集材法と川上から川下までのサプライチェーンを確立する。また、地域産業を牽引するイノベーター人材の育成、知のネットワーク化による異分野交流促進の事業を実施することで、森林資源におけるパラダイムシフトを図る。

いしかわ型環境価値創造産業創出エリア

いしかわ炭素繊維クラスター（織物技術を活用した熱可塑性炭素繊維複合材料の一大生産拠点の形成）

本地域では、繊維産業の織物・染色加工技術、機械産業のプレス加工技術などのモノづくり産業の技術力や大学等研究機関の知見といった強みを最大限に活かし、自動車部材等への適用が予想され、二酸化炭素排出の削減などへの貢献が大いに期待される炭素繊維分野での技術・製品開発を現在推進している。今後、本取組をさらに加速化させるため、当該分野の研究者の招へいや人材育成、機器の共用化や事業推進のためのコーディネータを配置し、炭素繊維の一大生産拠点の構築を目指す。

やまなし次世代環境・健康産業創出エリア

次世代環境産業創出の基盤となる、地産エネルギー統合型の小規模電力ネットワークの開発

次世代環境産業の創出を目指し、燃料電池技術、熱電材料技術、熱利用技術等を活用して地産地消型の新たな電力供給ネットワークの構築に供する研究開発・実用化を進める。そのため、太陽熱・地中熱・燃料電池発電廃熱等の電力変換技術、地中熱・温泉熱等の高効率利用技術、これらに加え、燃料電池、太陽光、小水力等のエネルギーを面的に活用したスマートビレッジを形成するための電力利用最適化技術等の開発と実用化を行うための人材結集等に、産学官金で連携して取り組み、同地域に環境産業の集積を図る。

和歌山県特産農産物を活用した健康産業イノベーション推進地域

地域資源を活かした健康産業イノベーション～県民健康力の向上と保健機能製品の世界展開～

和歌山県のキーテクノロジーは、地域農産物を原料とする機能性素材の開発であり、「医」「農」に関する研究機関連携による開発の推進、当地域の特徴的な産業である「化学産業」と「食品産業」の異業種連携による事業化などにより、新規事業や新産業の創出へと導く。本事業では、その基礎となる農産物由来成分の有用性、特に保健機能性に関するエビデンスの提供が可能な「医」及び「農」分野の中核的研究者の集積を図る。また、健康意識の向上と保健機能食品の適切な活用、消費事業育成を図るため、食・運動・健康に関わる人材の育成プログラムを開発する。

えひめ水産イノベーション創出地域

持続可能なえひめ水産イノベーションシステムの構築

水産業の活性化を核として広域的な地域イノベーションを推進するため、海洋生命科学研究を中心に、中核となる研究者を集積し、大学等の知のネットワークを構築することにより、研究基盤をより強固なものとするとともに、地域イノベーションを担う人材を育成して、地域に合った流通システムなどを構築して、産学官金が一体となった自立した水産業を核としたクラスターを形成する。

東日本大震災復興支援型

国際競争力強化地域

いわて環境と人にやさしい次世代モビリティ開発拠点

復興から次世代につながる先端的モビリティの創出

科学技術による技術革新をベースに震災からの復興と持続的なイノベーションを実現する地域を目指す。具体的には、これまで岩手に蓄積された自動車産業の基盤となる材料・高度加工技術、電子デバイス技術、ICT技術等の開発を推進するとともに、高度技術者の育成、産学官金による事業化の加速を図り、将来を見据えたモビリティのイノベーションを進め、日本のものづくりの再生を目指す。

知と医療機器創生宮城県エリア

みやぎ知と医療機器創生拠点

地域構想の実現に向け、東北大学の豊富な医療機器創成シーズ並びに、特区等を利活用し、産官学金の強い連携を構築して、地域高度電子機械産業に知的財産・人材・資金を投入するとともに、東北大学病院臨床試験推進センターの支援体制による薬事・治験の迅速化を図り、国内外からの企業の誘致・地域企業との連携を促進し、国際競争力をもつ医療機器産業クラスター形成を強力に推進し、産業集積と雇用の創出をともに実現する。

次世代自動車宮城県エリア

次世代自動車のための産学官連携イノベーション；大学発の新製品、新システム開発

東日本大震災からの復興、再生の鍵として、次世代自動車に対する期待が拡がっている。本地域イノベーション戦略では、東北大学をはじめとした世界最先端のシーズ・技術を活用し、宮城県を中心とする東北地方を中長期的にも自動車産業の一大集積地域として持続的に発展できるよう、次世代自動車のための研究開発拠点を目指すとともに、同時に地域の関連企業の技術力強化、震災による被災復興を強力に推進する。

研究機能・産業集積高度化地域

再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまイノベーション戦略推進地域

再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまの実現に向けた産業集積と持続循環社会の構築

東日本大震災及びそれに伴い発生した原子力災害で大きなハンディキャップを持った福島県を再生可能エネルギーの先駆けの地として再生するため、次世代太陽電池など世界最先端の研究開発等によりイノベーションを創出し、関連産業の集積を図るとともに、被災地を想定して、これらの技術を導入し、県内の豊富な自然エネルギーを効率的に利活用した、被災者が安心して生活できる持続循環型スマートコミュニティの導入を目指す。